

愛知県国土利用計画審議会第46回特別委員会会議録

○日時

令和2年1月30日（木） 午前10時から午前10時55分まで

○場所

愛知県自治センター4階 大会議室

○出席した委員（五十音順敬称略）

倉持香苗 武田美恵 中川弥智子 秀島栄三
増田理子

（5名）

○出席した幹事

都市整備局都市基盤部都市計画課長（事務局兼務）

政策企画局企画調整部企画課長（代理）

環境局環境政策部自然環境課長（代理）

経済産業局産業部産業立地通商課長（代理）

農業水産局農政部農業振興課長（代理）

農林基盤局農地部農地計画課長（代理）

農林基盤局林務部林務課長（代理）

農林基盤局林務部森林保全課長（代理）

建設局道路維持課長（代理）

建設局河川課長（代理）

建築局公共建築部住宅計画課長（代理）

建築局建築指導課長（代理）

企業庁企業立地部工務調整課長（代理）

○出席した事務局職員

都市整備局都市基盤部都市計画課長 片山貴視

都市整備局都市基盤部都市計画課主幹 梶田浩昭

課長補佐 鈴木系一

主任主査 田村豊

主事 小久保千佳

主事 古賀祐輝

1. 開会（事務局：鈴木都市計画課長補佐）

2. あいさつ

片山都市計画課長

3. 議題

愛知県国土利用計画（第五次）案について

（1）第 66 回愛知県国土利用計画審議会における主な意見等に対する対応について

資料により、事務局から第 66 回愛知県国土利用計画審議会における主な意見等に対する対応について説明。

（2）愛知県国土利用計画（第五次）案に対する意見聴取について

ア 説明

資料により、事務局から愛知県国土利用計画（第五次）案に対する意見聴取について説明。

イ 質疑

（倉持委員）

内容というより、パブリックコメント自体に関してなんですけれども、参考資料 3 を拝見させていただいて、様々な意見をくださった方がいらしたし、色々と考えてくださったんだなということもよく分かりました。それを、A 3 の紙にまとめる作業も大変だったのではないかとお察しいたします。ありがとうございました。

8 名から 17 件の御意見いただいたということなのですが、これはこれまでの計画策定の中では多い方ですか。さきほど、他の計画との比較をお話いただいたのですが、前の計画のパブリックコメントもやはりこのような数の御意見をいただいたのでしょうか。

もう一点、ここにいただいた御意見とそれに対する考え方をまとめていただいているのですが、これは例えばホームページなどで公表するようなご予定はあるのでしょうか。

（事務局）

前回 10 年前の計画改定時との比較でございますが、前回は、議会の議決が必要な計画でして、議会の議決が必要という計画の場合は、パブリックコメントは行っておりません。というのは、議員の方々は当然のことながら県民の方の代表者でございますので、その方々が議決をするということでパブリックコメントは行っていませんでした。

今回、8 名 17 件の御意見がございましたが、先ほど比較考量で申し上げたように、8 名の御意見というのは、必ずしもこういったパブリックコメントで少ないわけではございません。人数は大体このくらいかなという想定でございましたが、国土利用計画に馴染む、馴染まないは別問題とし

て、非常に力を入れていただいた御意見が多く、国土利用計画のパブリックコメントとしては、非常にありがたい御意見を頂戴したと考えてございます。

もう一点、これについてホームページで公開するのかなというようなことですが、今回お示ししている資料は特別委員会向け、審議用の資料でございますが、県の規定によって、パブリックコメントをやった場合は、概要なりを公表することになってございます。このように細かいものは出しませんが、要約して簡潔に、ホームページに公開したいと思っております。公開時期は、次回の審議会の前後にしたいと思っております。

(倉持委員)

私も実は、多い方だなと思えました。こないかも知れないというような考えもあったので、何か工夫されたのかなとか、この計画自体が、毎回パブリックコメントが多いものなのかなと思って質問させていただいた次第です。何か広報で工夫した点などありましたか。

(事務局)

一般の方は国土利用計画というものにあまり馴染みがないものですから、委員の方からの御意見も受けましたので、ホームページ上で募集するときには、そもそも国土利用計画とは何なのか、というところから資料を作りました。広報はちゃんとやりましたが、自然体で募集したところで、多種多様な方から御意見をいただいたことはうれしく思っております。

(倉持委員)

写真付きの資料などを添付していただいた方もいらっしゃって、非常に熱心にお考えいただいたので、例えば概要版や、これを計画に反映させますとか、このように修正しただけでもいいので、ぜひ公表していただけると、ご意見くださった方がどうなったかなと確認されると思うので、その積み重ねで、またこの計画にも関心をもっといただける方も増えていくと思いますので、ぜひよろしく願いいたします。

(事務局)

そのようにいたします。

(委員長)

それぞれ先生方、分野が違うと思うのですが、たしかに私もパブコメ件数多いなど、自分の知る限りでは思いました。

私からですけども、国の意見ということでふと思い出したのですが、スーパー・メガリージョンについてまったく触れてなかったと思うのですが、あれは、愛知県は特に関係しないで作られているものですか。

(事務局)

この国土利用計画の中にも、リニアインパクトに関しては記載してございますので、言葉は使ってございませんが、意識は当然してございます。5千万人の大交流圏というところできちっと押さえたつもりでございます。

(委員長)

分かりました。4ページのリニア中央新幹線のインパクト、ここがそれに当たるということでしょうか。

(事務局)

資料4の本文でいきますと、オ「リニア中央新幹線のインパクト」というのがございます。御指摘のとおり、このような部分で意識した上で国土利用計画は形を作っていると考えてございます。

(委員長)

ありがとうございます。

他に特に御意見ないようですので、基本的にはこのままでいくということでしょうか。字句等の修正はあるかもしれませんが。

(事務局)

今日、御欠席のお二方につきましては、別途、御意見等を伺おうと思っております。ですので、二人の委員の方の御意見を踏まえた上で、秀島委員長と相談させていただいて、最終案を作成し、3月5日の審議会に臨みたいと考えてございます。その御了解を頂ければと思っております。

(委員長)

そういうことで、二人の御意見を反映しうるかもしれませんが、次回の審議会の時に確認する機会があるということでしょうか。

あと、用語解説の方は、今日はこういう経過であるということで扱ったらよろしいでしょうか。

(事務局)

本日お手元に配布してございます、参考資料2の用語解説でございますが、最終的には計画の冊子を刷るときに後ろにつけるものと考えてございます。とりあえず事務局でまとめましたもので、まだブラッシュアップをしようかと思っております。もしこの用語解説について御意見等ございましたら、後日メール等いただければ手を入れたいと考えてございます。

(委員長)

この類の計画書としては、場合によってはページの下の方に脚注を振るというタイプもあると思うのですが、冊子の後ろにすべてをまとめるという形で、文中に引用の記号とか、そういうのはつけるのですか。

(事務局)

引用記号は、必要最小限、例えば、本文3ページの下にございます。

そこだけに必要なものについては、そのページの下に入れようかと思っておりますが、用語については、下に入れるという形ではなく、辞書的に使えるようにまとめたいと思っております。これは前回もそうですが、前回よりも、用語についてはより平易な言葉を使おうといった考えで整理いたしてございます。

(委員長)

もし、それぞれの御専門で気になるところがありましたら、先ほどお話
ありましたように事務局の方にお伝えいただければと思います。

4. 閉会（片山都市計画課長）